

【 次期システム Q&A 資料 】 1/2

No.	Q (質問事項)	A (回答 / 説明内容)	備考
1	次期システムとは何か？	<p>2015年10月19日から稼働する新eお菓子ねっとEDIサービスのことである。</p> <p>現行EDIサービス機能はシステム基盤は変わりますが、原則継続利用*1 出来ます。 新機能として、次世代EDI手順や東西センターバックアップ機能が追加されます。</p> <p>*1 廃止データ種 : 72/77配信分割マスタ更新/更新結果 : 82/87運用状況照会/照会結果/センタ処理結果 廃止レコード : 各データ種の漢字ヘッダレコード (オプション)</p>	TradeFront/AE ebXML/JX手順 デザスタリカバリー センター申請方式に変更 センター処理結果照会に変更
2	現行フォーマットを継続して使う予定であるが影響はないのか	<p>現行フォーマット同士のデータ交換では、何もかわりません。</p> <p>相手企業が新規フォーマットに変わった場合に、新規データチェック強化機能で、エラーとなる場合にはエラー回避対応を行わなければなりません。</p> <p>相手企業からデータ変更の依頼が来る場合、もしくは、受信データが受信出来なくなる可能性があります。また、相対で卸伝票No.8桁の対応要求がある場合には、現行フォーマット上(予備欄)での対応も考慮しないといけない場合があります</p> <p>また、eお菓子ねっとのサービス契約の再締結を行って頂きます。(システム基盤が変更となる為)</p>	エラー・チェック強化 卸伝票No.桁拡張
3	データチェック機能の強化による影響は？ (重症エラーの場合、送信データは破棄される)	<p>① 送信元/送信先/直接送信先コード: 取扱データ未登録の時</p> <p>② 数字属性チェック: 定義桁数に数字以外が指定されていた時</p> <p>③ 必須項目チェック: 数字はゼロエラー、半角・全角文字は全スペースエラー</p> <p>④ 単項目/関連項目チェック: 日付・時間、関連項目間で不整合がある時</p> <p>⇒「コントロール→トレーラー」レコード単位で、データ破棄されます</p> <p>⇒接続先毎、データ種毎(優先)に各2つのエラーメールアドレス登録が可能となり、重症エラー発生時はエラーメールアドレスの登録がある場合、エラー通知を行います。(送信データ時のみ)</p>	登録メール通知 センター処理結果照会で確認 センター申請
4	現在、EDI通信をJCA(BSCベーシック)手順で行っているが問題ないか	<p>現在でも早期の全銀TCPIP手順への切替(2013年11月末)をお願いしております。</p> <p>次期システム移行を見据えて、全銀TCPIP手順または次世代インターネット手順への切替を行って下さい</p>	JCA/全銀BSC手順 利用停止化
5	現在、EDI通信を全銀TCPIP手順を利用しているが問題ないか	<p>現在、全銀TCPIP手順を利用している企業においても、新リモートLAN回線への切替が必要です。</p> <p>理由は、2015年10月の次期システムへの本番切替をスムーズに行う為の対応です。</p> <p>別途、案内をしますが、2015年7月末迄に、新リモート回線への切替をお願いします</p> <p>切替作業の内容は、新接続電話番号、認証ID、パスワード、接続先IPアドレスの変更です。</p>	全銀TCPIP手順回線の 切替実施
6	EDI通信をもっと高速化したいが、いい方法はあるか	<p>次期システムでは、次世代インターネット(ebXML/JX)手順に対応しています。</p> <p>サーバー対応のebXML手順とクライアント対応のJX手順を採用することが可能です。</p> <p>通信速度はインターネットの実効スピード(nnMB)が適用されます。(20倍以上)</p> <p>伝送データは、固定長データとしてセットします。</p>	ebXML/JX手順の採用 通信高速化 固定長フォーマット
7	流通システム開発センターの「流通BMS」とは別の仕組みになるのか	<p>「流通BMS(流通ビジネスメッセージ標準)」とは異なり、固定長メッセージを採用しております。</p> <p>但し、次世代インターネット手順は一部利用することが出来ます。</p>	流通BMSとは異なる
8	障害対策はどうなっているのか	<p>現行システムでも、震度7迄は耐えられるデータセンターにて運用されています。</p> <p>しかし、外部ネットワーク網が使用不能となれば使えない状態となります。</p> <p>次期システムでは、東(首都圏)⇄西(関西圏)のデータセンター間でバックアップ体制を常態化して、万が一の災害時に、発注データ等の障害を回避します。</p> <p>また、システムの冗長化対応の為、代替回線は廃止します。(通常運用で利用している場合は変更する)</p>	東西センター同期化 デザスタリカバリー
9	新規フォーマット利用のメリットは	<p>①日本語表示対応 相手FAX受注企業への客先名・住所等の日本語表示が可能となる</p> <p>②下請法への対応 下請法対象企業への発注時に、下請法対象内容および支払期限日が指定可能となる</p> <p>③伝票レス・請求書レスへの対応 出荷報告・請求・支払に関して、詳細なデータ項目を付加することにより、伝票レス・請求書レス化を図り、伝票・請求郵送作業コストを軽減化する</p>	日本語化 下請法 伝票レス 請求書レス

【 次期システム Q&A 資料 】 2/2

No.	Q (質問事項)	A (回答 / 説明内容)	備考																																										
10	現行EDIサービス(現行フォーマット)の終了時期はいつまでか？	現行EDIサービス(現行フォーマット)・Web2008サービス(現行フォーマット)は現行フォーマット(V1)・Web2008現行フォーマット(V1)として、当面継続されます。但し、Web2000サービスは次期システムでは利用出来なくなります。	現行EDIサービス機能の継続利用																																										
11	主な運用の変更点はどんなものがあるか	① 運用時間 : 「6:00~23:30」→「3:30~24:30」(3時間30分延長) ② 1回のデータ格納件数は 1万件→50万件 に拡大 ③ 集配信済バックアップを 1ヶ月→2ヶ月 に延長 ④ 未配信データ繰越期間を 14日→1ヶ月 に延長 ⑤ 受信済データの再セットをユーザーが出来るようになる	3:30 延長																																										
12	次期システムのデータ種は？ ・ 現行フォーマット(V1) ・ 新規フォーマット(V2)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">現行 (V1)</th> <th style="text-align: center;">新規 (V2)</th> <th></th> <th style="text-align: center;">現行 (V1)</th> <th style="text-align: center;">新規 (V2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発注データ</td> <td style="text-align: center;">0 2</td> <td style="text-align: center;">0 3</td> <td>返品通知データ</td> <td style="text-align: center;">1 9</td> <td style="text-align: center;">1 8</td> </tr> <tr> <td>入庫予定データ</td> <td style="text-align: center;">1 1</td> <td style="text-align: center;">1 3</td> <td>受領データ</td> <td style="text-align: center;">1 2</td> <td style="text-align: center;">1 4</td> </tr> <tr> <td>出荷報告データ</td> <td style="text-align: center;">2 2</td> <td style="text-align: center;">2 3</td> <td>販売報告データ</td> <td style="text-align: center;">4 2</td> <td style="text-align: center;">4 3</td> </tr> <tr> <td>請求データ</td> <td style="text-align: center;">3 3</td> <td></td> <td>支払データ</td> <td style="text-align: center;">3 4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>請求明細データ</td> <td></td> <td style="text-align: center;">3 5</td> <td>支払明細データ</td> <td></td> <td style="text-align: center;">3 6</td> </tr> <tr> <td>販促金案内支払</td> <td style="text-align: center;">5 1</td> <td></td> <td>販促金請求</td> <td style="text-align: center;">5 2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		現行 (V1)	新規 (V2)		現行 (V1)	新規 (V2)	発注データ	0 2	0 3	返品通知データ	1 9	1 8	入庫予定データ	1 1	1 3	受領データ	1 2	1 4	出荷報告データ	2 2	2 3	販売報告データ	4 2	4 3	請求データ	3 3		支払データ	3 4		請求明細データ		3 5	支払明細データ		3 6	販促金案内支払	5 1		販促金請求	5 2		
	現行 (V1)	新規 (V2)		現行 (V1)	新規 (V2)																																								
発注データ	0 2	0 3	返品通知データ	1 9	1 8																																								
入庫予定データ	1 1	1 3	受領データ	1 2	1 4																																								
出荷報告データ	2 2	2 3	販売報告データ	4 2	4 3																																								
請求データ	3 3		支払データ	3 4																																									
請求明細データ		3 5	支払明細データ		3 6																																								
販促金案内支払	5 1		販促金請求	5 2																																									
13	新料金体系はどうなるのか	メーカーの料金体系が変更となります。(卸様の料金体系は現行通り、変わりません(基本料金のみ)) ① 現行フォーマット/現行EDI手順の場合は変更ありません。 ② 現行フォーマット/次世代EDI手順の場合は低減化されます。 ③ 新規フォーマットにするとさらに低減化されます。	詳しくは新料金体系表																																										
14	現行請求(支払)データ(伝票単位)と新規請求明細(支払明細)データの関係は？	現行の請求(支払)データと新規の請求明細(支払明細)データ間では、異なるデータ種との位置づけで、相互変換されません。 相対する企業様においては、現行フォーマット同士、新規フォーマット同士でEDIを行って下さい。																																											
15	Web2008システムでの変更点は？	認証方式がクライアント認証からIDとパスワードによるシステム認証に変更となります。(後日、連絡) 現行フォーマットと新規フォーマットの2種類のCSVフォーマットとなります。 菓子統一伝票発行機能は現在のパターンファイルは、現行フォーマットでは継続利用は可能ですが、新規フォーマットでは利用出来ません。 新規フォーマットでの伝票発行は、「菓子伝票名人」ソフトを導入することを推奨します。	認証方式変更 伝票発行方式変更																																										
16	FAX受注企業の影響度は？	発注元卸様が新規フォーマット企業に移行すると新規項目の表示が可能となる 一次店/二次店/届け先/三次店/チェーン店名・住所等を日本語でセットした場合は日本語で表記されます FAX利用料金(40円/枚)は変わりません。																																											
17	今後の情報提供方法と問い合わせは	① eお菓子ねっとホームページに、随時、掲載していきます。 ② eお菓子ねっと事務局(全日本菓子協会)窓口 (Tel 03-3431-3115 Eメール : anka-3@nifty.com)																																											
18	導入支援機能の活用方法は	新規フォーマットの送信および受信を本番化する前のテスト準備作業です。(申し込みが必要です) 受信する場合は、事前に現在の本番受信済データを利用して、新規フォーマットとして受け取ることが出来ます。 事前に現在のお取引様のエラー発生状況がわかります。 送信する場合は、作成した新規フォーマットのエラーチェックと現行フォーマットでの受信内容が確認出来ます。																																											
19	テスト環境はあるのか	導入支援機能がテスト環境に相当します。事前に十分活用してください。 (次期システム稼働までのご利用いただけません)																																											
20	自社利用文字コードとは？	次期システムでは、自社利用文字コードとして以下の文字コードが選択可能となります。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">EDI 現フォーマット</th> <th style="text-align: center;">EDI 新フォーマット</th> <th style="text-align: center;">Web2008 現/新フォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① S-JIS (半角 8ビットJIS 全角 Sift_JIS漢字)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">固定</td> </tr> <tr> <td>② JIS (半角:EBCDIC 全角 JIS X0208 1983漢字)</td> <td style="text-align: center;">固定</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>③ JEF (半角:EBCDIC 全角 JEF漢字)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>④ IBM (半角:EBCDIC 全角 IBM漢字)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> 相手の企業様の文字コードを意識することなく、事前登録の自社利用文字コードによりデータの送受信が可能となります。(拠店/データ種毎)		EDI 現フォーマット	EDI 新フォーマット	Web2008 現/新フォーマット	① S-JIS (半角 8ビットJIS 全角 Sift_JIS漢字)	-	○	固定	② JIS (半角:EBCDIC 全角 JIS X0208 1983漢字)	固定	○	-	③ JEF (半角:EBCDIC 全角 JEF漢字)	-	○	-	④ IBM (半角:EBCDIC 全角 IBM漢字)	-	○	-	センター申請																						
	EDI 現フォーマット	EDI 新フォーマット	Web2008 現/新フォーマット																																										
① S-JIS (半角 8ビットJIS 全角 Sift_JIS漢字)	-	○	固定																																										
② JIS (半角:EBCDIC 全角 JIS X0208 1983漢字)	固定	○	-																																										
③ JEF (半角:EBCDIC 全角 JEF漢字)	-	○	-																																										
④ IBM (半角:EBCDIC 全角 IBM漢字)	-	○	-																																										